

令和8年度シラバス(国語)

学番22 県立阿賀黎明高等学校

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年(学類)	1学年
使用教科書	『高等学校 改訂版 標準現代の国語』(第一学習社)				
副教材等	『現代の国語の基礎学習 新課程対応版 3ステップオリジナル問題集』(尚文出版) 『三訂版アシスト常用漢字』(数研出版)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①自分と社会の関係性を見つめ、他と協働しながら取り組む力を育成します。</p> <p>②複雑化する社会や地域に関心を持ち、様々な考えを受け入れる力を育成します。</p> <p>③好奇心をもって自ら学び続け本質を見極めようとする姿勢と力を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①あらゆる進路に対応できるカリキュラムを設定します。</p> <p>②少人数制により個々にあったきめ細かな指導を行います。</p> <p>③地域と連携し、地域資源を活用した教育活動を行います。</p> <p>④生徒が興味をもった題材を地域の大人が伴走しながら探究するプロジェクト学習に取り組めます。</p>

2 学習目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

3 指導計画

月	単元	教材又は項目	領域	学習活動(指導内容)	評価方法	時間
4	視野を広げる	「枠を壊して自由に生きる」 石黒浩	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の経験から導かれたメッセージを読み解き、自由に生きることについて考える。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 当たり前を疑い、生涯考え続けることの大切さについて述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 	発問評価 成果物の提出 定期考査 振り返りシート	3
		書き方の基礎レッスン	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 接続表現の種類や用法を理解する。 比喩などの表現技法を理解する。 書き言葉の特徴を踏まえ、適切さなどに配慮した表現について理解し、活用する。 	発問評価 振り返りシート	2
5	自分の立場を明確にする	「言葉遣いとアイデンティティ」 中村桃子	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深める。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 書き言葉の特徴を踏まえ、適切さなどに配慮した表現について理解し、活用する。 <p>※1学期中間考査</p>	発問評価 発表・報告 小テスト 定期考査 振り返りシート	5
		視野を広げる	話し方の基礎レッスン	話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 	発問評価 発表・報告 振り返りシート
6	自分の立場を明確にする	論理の展開を捉える【具体と抽象】 「日本語は世界をこのように捉える」 小浜逸郎	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 論理の型として、「具体と抽象」の関係を学ぶ。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 「いる」「ある」についての文章を読み、筆者が自分の意見や考えをどのように論述しているかを学ぶ。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 	発問評価 要約文の提出 定期考査 振り返りシート	4
		根拠を示す	「水の東西」 山崎正和	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。 <p>※1学期期末考査</p>	発問評価 発表・報告 定期考査 振り返りシート
7		論理の展開を捉える【対比】 「『間』の感覚」 高階秀爾	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 論理の型として、「対比」の関係を学ぶ。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 「間」の関係性についての文章を読み、筆者が自分の意見や考えをどのように論述しているかを学ぶ。 	発表・報告 振り返りシート	4

8	論理的に考える	「私たちはなぜ承認を求めめるのか」 戸谷洋志	読むこと	・承認欲求を説明するための論展開を理解し、SNSでのコミュニケーションのあり方について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。」	発問評価 発表・報告 小テスト 定期考査 振り返りシート	6
		言語活動 SNS利用についてのリーフレットを作成しよう	書くこと	・SNSとのつき合い方について述べた文章を読み、読み手が必要とする情報に応じて文書を作成する。 ・書き言葉の特徴を踏まえ、適切さなどに配慮した表現について理解し、活用する。	発表・報告 振り返りシート	3
		論理の展開を捉える【主張と根拠】【主張と反論】【推論】 コンピュータが作る俳句 黒崎政男	読むこと	・論理の型として、「推論」の関係を学ぶ。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 ・人間の作品理解についての文章を読み、筆者が自分の意見や考えをどのように論述しているかを学ぶ。 ※2学期中間考査	発問評価 小テスト 定期考査 振り返りシート	3
10	伝えたいことを明確にする	数量化のジレンマ 筒井淳也 言語活動アンケート調査の目的を捉え、調査方法を改善しよう	話すこと 聞くこと	・数量化のメリットと注意点を理解し、目的に沿う妥当性の高いデータを集める方法を考える。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・数量化のメリットと注意点について述べた文章を読み、調べたことを整理して、説明資料にまとめる。	発問評価 発表・報告 小テスト 定期考査 振り返りシート	6
		言語としてのピクトグラム 本田弘之 言語活動 資料を読み、問題のある公共サインの改善案を提案しよう	書くこと	・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・日本のピクトグラム揭示の特徴について述べた文章を踏まえ、自分の意見や考えを論述する。 ・読み手の理解が得られるように、文章の構成や展開を工夫する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。	発問評価 発表・報告 小テスト 定期考査 振り返りシート	6
11		ステレオタイプの落とし穴 原沢伊都夫	読むこと	・ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。 ・ステレオタイプの作られ方や問題点について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ※2学期期末考査	発表・報告 振り返りシート	4
12	視野を広げる	人はなぜ仕事をするのか 内田樹 言語活動 筆者の問いに対する考えをグループで話し合おう	話すこと 聞くこと	・本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 ・話の内容や構成を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする。 ・筆者の仕事観について述べた文章を読み、自分の考えを発表する。 ・話し合いの目的に応じて、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。	発問評価 小テスト 定期考査 振り返りシート	6
		「生物多様性」はなぜ大事なのか 吉永明弘	書くこと	・各段落の役割や関係を把握し、「生物多様性」を守る意義について考える。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。 ・種の絶滅や、絶滅危惧種の保護活動について積極的に調べ、わかりやすくまとめる。 ※学年末考査	発問評価 発表・報告 小テスト 定期考査	4
		理想の修学旅行をプレゼンする	話すこと 聞くこと	・相手の心に訴えかけるプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。 ・修学旅行についてのプレゼンテーションを行う言語活動をととして、相手と目的を意識したプレゼン方法とスライドの作り方を学び、集めた情報を資料にまとめ発表する。	発表・報告 振り返りシート	6

話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	合計
20	30	20	70

「1単位時間は50分」

4 評価の観点の趣旨

観点	(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばしている。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高めている。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 ・進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

観点	(1) 知識・技能(30%)	(2) 思考・判断・表現(35%)	(3) 主体的に学習に取り組む態度(35%)
評価方法	・小テストや定期考査の評価 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述	・小テストや定期考査の評価 ・授業中の発言、発表やグループワークの取り組み ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認	・授業中の発言、発表やグループワークの取り組み ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述

6 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。授業では、基礎・基本を学び、実際に話したり書いたりする学習活動を行います。普段の生活の中でも学習して身につけた国語の能力を、積極的に使い、応用力も高めていきましょう。